



大坪 涼子
(日本共産党)

医療費免除の継続は

3月まで現行で4月から限定

質問 医療費免除は国保に加入している被災者の命と健康を守ってきた。継続の考えはどうか。

答弁 医療費免除は被災者の生活支援などに効果があった。令和3年3月まで現行を継続し、4月からは非課税世帯に限定。12月をもって制度終了の目安としたい。

質問 コロナウイルス感染症は同時検査が望まれる。検査体制はどうか。

答弁 気仙では6つの医療機関が「診療・検査医療機関」として指定申請している。何と何とっている。

質問 国による補填がない中で、市内の医療機関へ支援制度を創設した意義は何か。

答弁 感染症の流行で受診控えなどにより業務に支障が

あるとのことで、市独自で公立を除く病院および医科診療所に各100万円、歯科診療所に各50万円を支援する。流行時期に対する備えや医療機関内での感染防止等への活用を期待している。

漁業の担い手対策は

質問 米崎町脇の沢地区では、本市の漁業に対する支援を頼りに新規参入もある。担い手対策の状況はどうか。

答弁 がんばる海の担い手支援事業は本年度から大幅拡充し、既に4件に支援を開始した。県の水産アカデミー卒業から漁業開始まで、切れ目ない支援行

答弁 ほぼ全ての路線が中心市街地や県立高田病院を經由し、一定の利便性が確保されている。デマンド交通、ふるさとタクシー助成券配布、横田町の地域主体の移動サービスも成果を上げつつある。



医療費免除継続署名の提出

程が確立されつつある。

質問 地元漁業への影響は。答弁 移住者や若い担い手が元気に明るく取り組む姿は地元漁業者に新鮮で良い刺激となっている。地域漁業の活性化には欠かせない。



菅野 広紀
(碧い風)

新年度の予算編成方針は

総合計画に基づき施策展開

質問 令和3年度の予算編成方針はどうか。

答弁 まちづくり総合計画に基づき、各種施策を展開で

ウイルス感染症対策に係る国の財政支援はまだ示されておらず、財源確保が難しい状況だが、市内事業者や市民二

やむを得ない事情により期間内に未完了となる一部の事業については、期間内に計上された予算の範囲内で支援を継

うか。

答弁 プロポーザルの結果、ワタミオーガニックランド(株)が整備・運営事業者に決定し、令和3年3月の一部開業に向けて施設整備が進められている。基幹的な事業は、無農薬野菜の栽培を行う「農業事業」、地元食材を主体とした「レストラン事業」、収



オーガニックランド イメージ図

きるよう予算編成作業を行う。また、被災者の住宅再建の予算化や生活再建に向けた相談支援、コミュニティ形成、生きがいづくりといった心の復興などを重点的に予算化し、きめ細かい被災者支援を継続していく。

質問 一部の事業はコロナ禍の影響で計画期間内の完了が見込めない可能性もあるが、国は「関連工事との調整など、

継続する」としており、事業完了まで継続して事業が行えるよう国・県と協議を進めている。

オーガニックランドは

質問 気仙町今泉北地区で整備が進められているオーガニックランドの進捗状況はどうか。

質問 民間ホテル建設の見通しはどうか。答弁(株)共立メンテナンスと

スとホテル建設を前提に、覚書を令和2年3月17日に締結した。当初は10月に着工予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で遅れており、現在は基本設計中となっている。



及川 修一

シルバー人材セ事務所は 未利用施設の賃貸など考える

質問 震災後のシルバー人材センターは、事務所に駐車場がなく苦慮している。新しい事務所として未利用のコミセンなどを貸す考えはないか。

答弁 未利用施設は有休させておくより使っていたいたほうがいい。希望があれば相談してほしい。

質問 シルバー人材センターの草刈り作業が増えていると思うが、草を捨てる場所に苦慮している。整備する考えは

答弁 現在、草捨て場は竹駒町に1カ所ある。今後、市有地の適地を探するなど検討していきたい。

質問 シルバー人材センターの活動は、ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりにも通じると思うが、どのように感じているか。

答弁 SDGsの目標に合致していて、地域での貢献も非常に大きいと評価している。生涯現役社会の実現を目的

指し、地域の活力を維持するための力として、今後も活躍できるように支援していく。

ため池の管理は

質問 震災後の移転先や避難場所に指定された公民館そばに古いため池がある場所があり、土砂災害が心配される。対応はどうか。

答弁 市内には住宅再建地と近接するため池もみられる。現在、現地調査を行い、

今後のコロナ支援は

質問 新型コロナウイルス感染症への対応として各種支援を行ってきたが、市民の反応は。

答弁 4月初旬から飲食業を中心に深刻な影響が出たことから、中小企業緊急経済支援金として現金をいち早く届けた。「支払いに間に合った」という感謝の声をいただいた



シルバー人材センター事務所 (高田町)

き、スピードの重要性を再認識した。

質問 今後の支援の財源とタイミングは。

答弁 財政調整基金残高の適切な規模を踏まえ、国・県の動向を注視しつつ、必要な独自支援策の財政出動の規模やタイミングを検討している。